



JR貨物会社入社式行動(貨物本社前)



JR東日本会社入社式行動(白河研修センター前)



組合員の購読料は組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 阿部 力
編集責任者 宮崎浩則

No. 1662 定価 15円

2005年
5月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

国労に加入し

職場労働条件の改善 本物の仲間づくりを

共に取り組もう

四月一日、JR各社の入社式が行われた。東日本会社は白河の研修センターで行うため、三月三十一日に新入社員が続々と新白河駅に降り立った。

国労東日本本部主催で行われた入社式対策行動として、新白河駅前と研修センター前でプラカード・横断幕等による宣伝行動を取り組んだ。

また、四月一日にはJR貨物会社への入社式が貨物本社で行われ、国労本部や貨物協議会

主催で宣伝行動を取り組んだ。

両方の取り組みには青年部・青年対策部が積極的に関わったことは言うまでもなく、行動に参加した仲間は「新入社員のみなさんが、国労への加入呼びかけの書かれた横断幕を横目で見ながら歩き、それなりの意識を示してくれた」、今後、「一人でも多くの仲間を国労に迎え入れていきたい」と、感想と決意を語ってくれた。

我が支部自慢

(第八回・自動車支部)

福島・茨城・栃木・千葉・東京・長野・群馬の都六県にまたがり、一五支店四営業センター六営業所に、一分会五〇名程の組合員で組織する関東自動車支部は、JR東日本からの出向社員とJRバス関東採用の社員で構成されている。

業務内容は、検査業務の他、乗務範囲としては路線バス以外に、ルートマップにあ



役員の方々

支部旗開き

るように関東一円はもとより、本州・四国中にも分布し、遠くは、徳島・高知、広島まで達している。

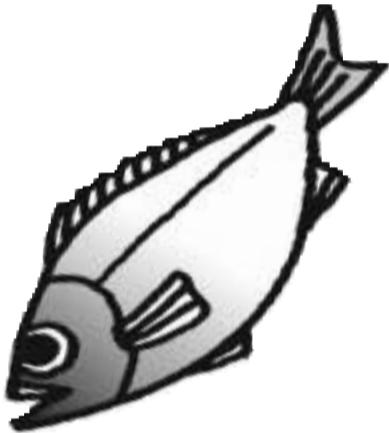
支部は、月一回の執行委員会、隔月の分会代表者会議、月一〜二回の機関紙「労報」発行という機関運動の他、家族も含めた旗開き、海の幸バーベキュー、夏のサマーフェスティバルなどを開催し、会う機会を大切に運動を推し進め、組合員どうしの顔が判るような家庭的な支部づくりを追求している。他会社のバス社員との情報交換やレクへの参加などの交流も積極的に行っている。組織対策については、坂本君(国労東京地本青年部長)の元職場復帰と労使関係改善をきっかけに、国労加入呼びかけを全力を挙げ取り組んでいく。

バス職場は、規制緩和の影響から安売りが横行し、また常磐新線開業に伴う減収見込みで、在来線の路線の譲渡、不採算路線の休廃止にとどまらず、子会社バステックにバス社員を出向させて東京・名古屋を三月二五日から運行させるなど、合理化が進行している。

磯部委員長は「宣伝・啓蒙を重視し、無権利状態にある労働者を目覚めさせるために全力を挙げる」と決意を明らかにしている。

(自動車支部教官部長・渡一夫)

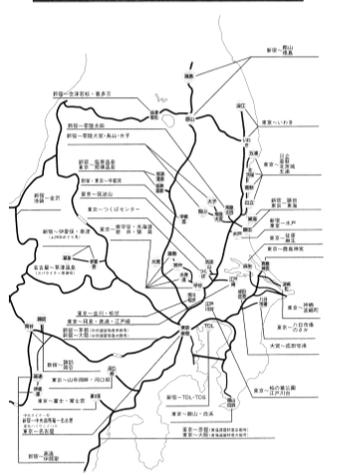
第六回海釣り大会



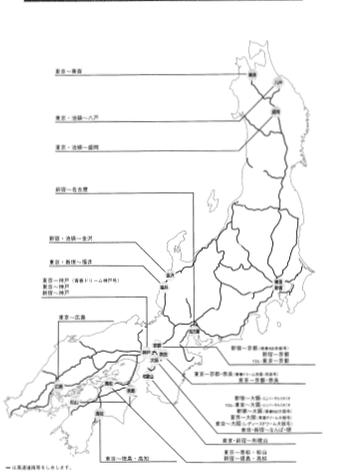
- 一、日 時
- 二、場 所
- 三、日 程
- 四、釣 法
- 五、参加費
- 六、競技方法
- 七、締 切

- 二〇〇五年五月二〇日(金)
- 川崎・つり幸
- 六：〇〇〜六：三〇 受付
- 鯛(タイ)はサニカゴ(L八〇号)
- 鯆(アジ)はサオ・ビシ釣り(錘一三〇号)
- 一人一〇、〇〇〇円
- 鯛(タイ)は一匹の重量
- 鯆(アジ)は三匹の重量
- 五月六日(金)地本必着

昼行高速バスルートマップ



夜行高速バスルートマップ



労働安全衛生法 シニア再雇用制度 で学習会



四月九日「労働安全衛生法・シニア再雇用制度学習会」が、桜の花が満開の土曜日、都内で開催された。

山本福対部長の司会で始まり、笹原書記長から主催者挨拶が行われた。

続いて、国労東日本本部の藤野副委員長から、シニア再雇用制度について、再雇用先への採用状況や労働条件を明らかにし、〇五年のスケジュール、高齢者雇用安定法改正に伴う取り扱いについて、会社提案の説明などを行った。さまざまな問題点を抱えている



こともあり、東日本本部は「今回の法改正の主旨は定年延長又は希望者全員の継続雇用の確保であり法改正の原則に反している。JR東日本会社は希望者の九八%の再雇用を確保したというが、国労調査と乖離しており改善を求める。採用人数の明確化、退職事務に関する小冊子の対象者全員への配布。現行制度の運用上の問題点や法改正の主旨を踏まえ別途要求を提出する。」として修正提案時に申し入れを行ったとの報告も受け、タイムリーな学習会となった。

れた。書記長は、昇進差別事件和解に対する取り組みの現状報告をしながら、「今年の試験には全体で取り組もう。その力で組織拡大に全力を挙げよう」と呼びかけた。

次に、全労働本部・丹野中央執行委員から「国労の行った、『健康・安全、職場実態調査』からみた安全衛生活動の課題」について、改正が閣議決定された労働安全衛生法とからまとめた講演をいただいた。

丹野氏は「労災・職業病の現状、労働組合による安全衛生活動と職場実態調査の重要性を前段に述べながら、疲労の程度と健康状態、職種・職域を問わず強まるストレス、

「傷病災害救援(DLR)基金」 緊急カンパの要請行動を!

病気や怪我で働くことが出来なくなり、無収入となった闘争団員と家族の生活を側面から援助するために設けられたDLR基金が枯渇し、給付継続が困難な状況に立ち至っている。

同制度は、国鉄清算事業団を解雇された一〇四七名の生活を援助するため、一九九二年

白河市議選で石名氏当選



本年四月一〇日告示一七日に投票が行われた、福島県白河市議会議員選挙において、前大宮地区本部委員長で宇都宮営業機動センター分会の石名国光さんが当選した。

白河市議会議員選挙は、定数二四名のところ二六名が立候補する少数激戦であったが、七四五票を獲得し、新人にもかかわらず当選するという快挙を成し遂げた。

三月三十一日に設立された。給付対象者は現在月平均のべ一五人で、死亡一年未満の闘争団員などの遺族、傷病休業一ヶ月以上の闘争団員に給付されている。発足当初は、月一〇万円以上の給付が行われていたが、現在一律三万円、しかもここ数年、政府による超低金利政策のもとで「基金」が枯渇し、カンパ収入による「つなぎ」状態の資金運営となっている。

昨秋の「全国キャラバン行動」の中で、約二百二十万円のカンパが寄せられ、この半年間給付を継続することができたが、その基金も六月末で再び枯渇する状況にある。

DLR基金事務局である国鉄闘争支援中央共闘会議は、この状況を踏まえ、別紙「緊急カンパ」を再度継続して取り組むことを決定した。

以下の取り組みに全力を挙げよう!

一、カンパ活動
JR不採用事件の取り組みむべき第一義的課題として、支援共闘団体等に対して、一

第11回へら鮎釣り大会で 中村さん優勝

四月一三日早朝、桜の花を散らせる冷たい雨が降る中、日頃の腕を競う太公望が、幸手市の市営へら鮎釣り場に集合した。五時半入場から一五時まで各々のテントで一心不乱にへら鮎と格闘した。

釣り場の方に何うと、「冷たい雨で気温は低い、水温は一四度と温かく、鮎も活発に動いている。釣果は上がる」とのこと。

結果、な、何と、事務局で賞品揃えや



受賞者 花咲くテント

- 定の目標を設定し、緊急カンパの要請行動等創意工夫ある取り組みを行うこと。
- 二、カンパ用紙の送付と報告
DLR基金事務局が発行した要請書及びカンパ用紙等を積極的に活用すること。
- カンパが寄せられた団体等は、国鉄新聞及び国鉄支援共闘ニュースで報告する。
- 三、カンパの取り組み期間
- 第一次集約 〇五年 六月末
 - 第二次集約 〇五年 七月末
 - 最終集約 〇五年 八月末とする
- 四、振込口座
中央労働金庫新橋支店
(普) 八四〇九二〇〇
郵便振替口座
〇〇一四〇 九 七五七二八〇
名義「傷病災害救援基金」

出欠の確認、果ては賞状書きまでやっていただいている中村さんが、約五〇匹・二〇キを釣りあげ、優勝してしまつた。参加者各位のますますの奮闘を期待するものである。

【結果】
優勝 中村 寛(松戸運転区)二〇キ
準優勝 大川 亨(三鷹車掌区)一九・四キ
第三位 園部利行(浦和車掌区)一六・九キ



「がん」の生涯保障(21世紀がん保険)

BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	100万円 (一時金として) がんの場合 10万円 上皮内新生物の場合
入院したとき	1日につき 10,000円 安心の無制限
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

＜引受保険会社＞
AFIAC アメリカンファミリー生命
東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障(特約MAX21終身タイプ)

病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
がんを含む病気・ケガで 所定の手術を受けたとき	1回につき(手術の種類により) 5・10・20万円

●保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります。)・疾病・災害入院給付金日額5千円
●契約年齢:満3歳~満80歳(本人型)・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。
●詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。

■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F